

## 成果発表(口頭発表) 平成 19 年度

気象研究所の職員が筆頭者として行った講演、口頭発表などを個人別に掲載している。  
各発表の情報は、発表期日の順に並べている。

- 青木輝夫
- ・積雪に含まれる黒色炭素・ダストとアルベドの観測, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - ・大気エアロゾルの積雪面への沈着と気候への影響, 日本地球惑星科学連合 2007 年度合同大会
  - ・Climate forcing due to black carbon and dust depositions on snow surface, International Union of Geodesy and Geophysics 2007
  - ・積雪アルベド物理モデルの精度に与える積雪不純物特性の効果, 日本雪氷学会 2007 年度全国大会
  - ・大気エアロゾルの沈着が積雪アルベドに与える影響, 日本気象学会 2007 年秋季大会シンポジウム要旨集「雪氷圏から語る気象と気候」
  - ・積雪アルベド物理モデルの地上観測データによる検証, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - ・GLI 及び MODIS データによる積雪粒径と不純物濃度抽出, 日本気象学会 2007 年秋季大会・第 3 回統合的陸域圏研究連絡会
  - ・積雪の光学特性と大気エアロゾル-雪氷相互作用, 海洋研究開発機構地球環境観測研究センター第 4 回北極圏セミナー
  - ・吸収性エアロゾルが雪氷面放射収支に与える効果, 千葉大学雪氷・生物分野合同ゼミ
  - ・GLI snow ice products and those implication in climate study, AMSR/GLI PI Workshop 2008, JAXA/EORC
  - ・Physically based snow albedo model and satellite retrieved snow parameters, 5th EARSeL Workshop
  - ・Introduction: Workshop Goals and Challenges, International Scientific Seminar between Switzerland and Japan, How does changing Cryosphere influence Global Warming?
  - ・Optical properties of snow surface and physically based snow albedo model applicable to GCM, International Scientific Seminar between Switzerland and Japan, How does changing Cryosphere influence Global Warming?
- 青梨和正
- ・非静力雲解像モデルの物理量のアンサンブル予報誤差の擾乱依存性について, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - ・衛星搭載マイクロ波放射計 AMSRE 降水強度リトリバルアルゴリズムの開発(その 6), 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - ・静止衛星搭載マイクロ波放射計データからの降水情報の利用可能性について, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - ・GSMaP Passive Microwave Precipitation Retrieval Algorithm, International Precipitation Working Group (IPWG) Program to Evaluate High Resolution Precipitation Products (PEHRPP) workshop
- 青柳曉典
- ・JMANHM 用単層都市キャノピースキームの開発-都市域放射収支の評価-, 日本ヒートアイランド学会第 2 回全国大会
  - ・JMANHM 用簡易都市キャノピーモデルの改良, 第 9 回非静力学モデルに関するワークショップ
  - ・JMANHM 用単層都市キャノピースキームの改良と放射収支に関する検討, 日本気象学会 2007 年度秋季大会

- 青山道夫
- ・ Recent Comparability of the Nutrients Data in world Ocean: Results of 2003 and 2006 RMNS Intercomparisons and an “International Nutrients Scale System (INSS) in Sea Water”, BERM11 (11th International Symposium on Biological and Environmental Reference Material)
  - ・ 海洋環境における人工放射性核種の長期挙動の研究, 第 49 回環境放射能調査研究
  - ・ 北太平洋深層における栄養塩変動について, 第 11 回みらいシンポジウム
  - ・ 北太平洋亜熱帯循環域でのセシウム 137 の長期挙動, 第 11 回みらいシンポジウム
  - ・ 北太平洋での栄養塩濃度の長期変動と栄養塩国際スケール (INSS) 策定の国際共同行動, 2008 年度日本海洋学会春季大会
  - ・ 北太平洋亜熱帯循環域での人工放射性核種の長期変動, 2008 年度日本海洋学会春季大会
- 足立アホロ
- ・ 台風 0221 号に伴うガストフロントの低層構造, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- 足立恭将
- ・ アルベドと海水厚の取扱の違いによる融解量と結氷量への感度実験, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- 安藤 忍
- ・ 航空機による火山熱活動の定量的評価に向けて, 日本地球惑星科学連合 2007 年度大会
  - ・ Investigation of effect of meteorological factors to the volcanothermal observation data using infrared thermal camera, Cities on Volcanoes 5 in Shimabara
  - ・ ALOS PALSAR の干渉 SAR で見た雲仙岳溶岩ドームの変形(続報), 平成 19 年度京都大学防災研究所特別教育研究経費(拠点形成)研究集会/衛星搭載型合成開口レーダーを用いた地震・火山災害ポテンシャル評価手法の高度化・効率化
- 五十嵐康人
- ・ Asian dust influences on the deposition of  $^{90}\text{Sr}$  and  $^{137}\text{Cs}$  over Japan, The Fourth International Workshop on Dust/Sand Storms and Associated Dustfall
  - ・ 人工放射能の降下量からみた風送ダスト輸送, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - ・ 富士山を利用したエアロゾルの鉛直的観測研究 2005-2006-概要, 第 24 回エアロゾル科学・技術研究討論会
  - ・ Research on Aerosol and its Precursor Gas by Using Mt. Fuji as an Observation Tower, The 5th Asian Aerosol Conference
  - ・ 日本での観測で風送ダストをどう紐解くかー私見, 環境日本海域の環境シンポジウム: 地球環境地域学の創成を目指して
  - ・ 風送ダストと人工放射能の輸送: 2007 年 4 月の事例を中心に, 第 13 回大気化学討論会
  - ・ 放射性降下物の長期変動と再浮遊に関する研究, 第 49 回環境放射能調査研究成果発表会
- 石井雅男
- ・ Activities in the North Pacific, Surface Ocean  $\text{CO}_2$  Variability and Vulnerability Workshop
  - ・ 本州南方の亜熱帯域表層における酸素循環の季節変化とその要因, 2007 年日本海洋学会秋季大会シンポジウム「太平洋亜熱帯海域の大気組成と海洋起源物質」
  - ・ Trend of DIC increase in the western North Pacific along P9 and P13, 2008 Ocean Science Meeting
  - ・ Development of New dual-beam coulometer for high-precision DIC analysis in seawater, Asia-Pacific Workshop on Carbon Cycle Observations
  - ・ Oceanic  $\text{CO}_2$  Observations in the North Pacific, Asia-Pacific Workshop on Carbon Cycle Observations
- 石崎 廣
- ・ 渦解像モデルの混合域中層における親潮水と黒潮水の渦輸送, 2007 年度日本海洋学会秋季大会
  - ・ モデル結果の中層における親潮水の混合比、その渦輸送、及び塩分分布, 九州大学応用力

学研究所共同利用研究「海洋大循環の力学、とくに中深層循環におよぼす海岸、海底地形の影響に関する研究」

- 石原幸司
- COBE-SST を用いた全球平均気温平年差とその不確実性の評価, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - MRI-RCM20 による温暖化予測結果に基づく不確実性の評価について, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- 石元裕史
- フラクタル次元を用いた雪片のモデル化とレーダー反射特性の計算, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - フラクタル形状雪片のレーダー反射特性, ワークショップ「降雪に関するレーダーと数値モデルによる研究(第6回)」
- 稲葉守生
- 全球大気モデルを用いた 2005 年 12 月の予報における初期値及び下部境界条件依存性 (その 2), 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - 全球大気モデルを用いた 2005 年 12 月の予報における初期値及び下部境界条件依存性 (その 3), 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - Forecast study of the cause of the cold December 2005 in Japan, ISAM6+EAC9
- 猪上華子
- 関東地方における夏季雷雨発生時の水蒸気場の特徴, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - 2006 年 4 月 20 日神奈川県藤沢市で発生した竜巻の発生環境について, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- 岩切一宏
- 震度観測点への震度マグニチュードの適用, 日本地球惑星科学連合 2007 年大会
- 上野 充
- 台風境界層内の風の非対称と環境風の鉛直シア, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - An analytical expression for the amplitude of wavenumber-one vertical velocity in the inner-core region of tropical cyclones under the influence of ambient vertical shear, IUGG
  - 数値モデルで得られた台風中心軸の傾斜と気温変化, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- 碓氷典久
- MOVE/MRI.COM による混合域の再現性, 東京大学海洋研究所国際沿岸海洋研究センター研究集会
  - 2004 年黒潮大蛇行の形成過程 (II), 2007 年日本海洋学会秋季大会
  - Roles of frontal wave in the East China Sea on the Kuroshio path variation, 2007 GODAE Coastal Workshop "Assessing the value of GODAE products in coastal and shelf seas"
  - Formation process of the Kuroshio large Meander using a regional assimilation system MOVE/MRI.COM-WNP, 2008 Ocean Science Meeting
  - 黒潮定常大蛇行の形成条件—2004 年大蛇行事例による感度実験—, 2008 年度日本海洋学会春季大会
- 内山貴雄
- 領域大気海洋結合モデルを用いた日本の温暖化予測, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- 永戸久喜
- レーダ反射強度データとの比較による雲解像モデルの降水物質予測特性の検証と改善の検討, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - The sensitivity of passive microwave responses to the hydrometeor properties simulated by a cloud resolving model in real rainfall systems associated with Baiu front, The 7th Global Precipitation Measurement (GPM) International Planning Workshop

- ・衛星搭載マイクロ波データによる降水強度推定アルゴリズム改良への雲解像度モデル利用の検討, 衛星による高精度高分解能全球降水マップの作成 (GSMaP) 公開成果報告会
  - ・ The sensitivity of passive microwave responses to the hydrometeor properties simulated by a cloud resolving model in real rainfall systems associated with Baiu front, 10th Specialist Meeting on Microwave Radiometry and Remote Sensing of the Environment
- 遠藤洋和
- ・ マッデン・ジュリアン振動と冬期の日本の天候および循環場との関係, 平成 19 年度月例会「長期予報と大気大循環」
  - ・ 20km 格子地域気候モデルによるヤマセ型低温の再現性と将来予測, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- 大泉三津夫
- ・ MRI/JMA-SiB による積雪・融雪情報の利用, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - ・ Interaction between newly formed snow cover and lower boundary layer in Kanto plains, IUGG2007
  - ・ JMANHM による関東平野の積雪再現実験 - 解像度の影響と下層大気の後方流跡線の特徴 -, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- 大竹和生
- ・ 緊急地震速報に用いられるテリトリ法の改良, 日本地震学会 2007 年秋季大会
- 尾瀬智昭
- ・ 夏季東アジアにおけるエルニーニョの影響の結合モデルによる再現性, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - ・ ENSO-related Seasonal Predictability in East Asia and Skills of JMA/MRI Unified Models, World Climate Research Program Workshop on Seasonal Prediction
  - ・ Cloud schemes for indirect aerosol effects in the MRI Earth System Model, Second International Conference on the Earth System Modelling
  - ・ Asian Monsoon Predictability in JMA/MRI Seasonal Forecast System, Joint Conference on The 6th International Symposium on Asian Monsoon System (ISAM6) and The 9th East Asian Climate Workshop (EAC9)
  - ・ Verification of JRA-25 Land Surface with CEOP Data, The 3rd WCRP International Conference on Reanalysis
- 小畑 淳
- ・ 北大西洋への淡水流入に対する気候炭素循環モデルの応答—産業革命以後の温暖化実験について—, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - ・ 気候炭素循環モデルによる地球環境変動評価, 気象庁・地球環境フロンティア研究センター研究懇談会第 3 回会合
- 折笠成宏
- ・ 航空機による山岳性降雪雲の直接観測 —雲の相からみた統計的特徴—, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - ・ 気球を用いた黄砂エアロゾルと上層雲の観測 —雲粒子ゾンデデータから得られた特徴—, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- 勝間田明男
- ・ 深部低周波地震発生域のマントル上部速度構造, 日本地球惑星科学連合 2007 年度大会
  - ・ レーザー干渉計のデータ処理と波長スイープ制御, 日本地球惑星科学連合 2007 年度大会
  - ・ 1977 年以後の変位マグニチュードと速度マグニチュードの比較, 日本地震学会 2007 年度秋季大会
  - ・ 三次元速度構造を用いた Double-Difference 震源決定による新潟県中越沖地震の余震分布, 日本地震学会 2007 年度秋季大会
  - ・ 東海地震の想定震源域地殻内の地震活動変化とその意味, 日本地震学会 2007 年度秋季大会

- ・静岡県における小規模アレイ観測と東海地域プレート境界モニタリング, 「アスペリティのマッピングとモニタリング (EARS) シンポジウム」
- ・森町送信所の目的・送信履歴・障害の概要, JCEAM 送信技術専門部会
- ・東海地域臨時観測とアクロスによる東海地域プレート境界モニタリング, シンポジウム『地下構造のアクティブメソッド』

加藤輝之

- ・梅雨前線帯における積乱雲の潜在的発達高度について, 第 28 回メソ気象研究会
- ・2006 年 11 月 7 日北海道佐呂間町で観測された竜巻の発生環境～雲解像モデルによるスーパーセルの再現結果から～, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- ・2005 年 12 月の豪雪と客観解析データおよび雲解像モデルの予想結果から推定される雲頂高度との関係, 日本地球惑星科学連合 2007 年大会
- ・Relation of heavy snowfall and cloud-top heights observed around the Japan Islands in Dec. 2005, estimated from objective analyses and forecasts of cloud-resolving model, IUGG2007
- ・Environmental atmospheric conditions under which a tornado formed over Hokkaido Island, Japan on 7 Nov. 2006, detected from a supercell reproduced by a cloud-resolving model, 12th Conference on Mesoscale Processes
- ・2007 年 5-7 月の九州・四国地方における LNB (浮力がなくなる高度) と 1km-CRM が予想した雲頂高度との関係, 第 9 回非静力学モデルに関するワークショップ
- ・竜巻をもたらす環境場と佐呂間町の竜巻をもたらした積乱雲のシミュレーション, 第 29 回メソ気象研究会
- ・2007 年 5-7 月の九州・四国地方における浮力がなくなる高度と雲解像モデルが予想した雲頂高度との関係, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- ・Environmental conditions for the formations of a supercell storm and its accompanying Saroma tornado in Hokkaido Island, Japan on 7 November 2006: An observational analysis and a numerical study using a cloud-resolving meso-scale model, International Conference on Mesoscale Meteorology and Typhoon (ICMCS-VI)
- ・Quantitatively dependency of rainfall amount on cloud-top heights of moist convection during the Baiu season, depicted from the simulation results of 1km-cloud resolving model, International Conference on Mesoscale Meteorology and Typhoon (ICMCS-VI)
- ・梅雨期の集中豪雨—発達高度から考える—, 日本気象学会第 2 回例会 (四国地区) 発表会
- ・Quantitatively dependency of rainfall amount on cloud-top heights of moist convection during the Baiu season, depicted from the simulation results of 1km-cloud resolving model, 7th Global Precipitation Measurement (GPM) International Planning Workshop
- ・Numerical simulation of supercells and tornadoes in MRI/JMA, International workshop on the hazardous winds associated with severe storms
- ・地形性豪雨—その発生環境場と数値モデルによる再現可能性—, 第 5 回天気予報研究会

蒲地政文

- ・MOVE/MRI.COM: An Introduction to MRI Assimilation-Prediction System, GODAE Intercomparison Workshop
- ・ARGO 計画と GODAE 計画, 2007 年日本海洋学会春季大会, シンポジウム「Argo の現状と課題」-海洋基盤としての Argo-
- ・海洋気候変動予測と海の天気予報の為にオペレーショナルシステム: エルニーニョと黒潮を例にとりて, 「ISM オープンフォーラム」-データ同化でせまる地球環境の未来予測-
- ・Demonstration/application/impact-of-observattion in Japan GODAE partners, XII GODAE/IGST
- ・Japan National Report, XII GODAE/IGST

- North Pacific Intercomparison, XII GODAE/IGST
- Status Report on Satellite Developments in Japan, XII GODAE/IGST
- Multivariate Ocean Variational Estimation (MOVE/MRI.COM) System in JMA/MRI, Second CLIVAR/GODAE Meeting on Ocean Synthesis Evaluation
- An example of operational ocean data assimilation and prediction, PICES 16th Annual Meeting
- Ocean Reanalysis and its Application to Water Mass Analyses in the Pacific, 3rd WCRP International Conference on Reanalysis
- データ同化システム：海洋の組織構造の解明と未来予測のためのツール，第 5 回データ解析融合ワークショップ

上口賢治

- 地形効果を取り込んだ高解像度降水データを用いた降水量と風に関する解析，日本気象学会 2007 年度春季大会
- 高解像度全球モデルを用いた、地球温暖化に伴う河川流量の将来変化，日本気象学会 2007 年度秋季大会

川畑拓矢

- NHM-4DVAR による首都圏豪雨再現の試み，日本気象学会 2007 年度秋季大会
- NHM-4DVAR による首都圏豪雨再現の試み，第 9 回非静力学モデルに関するワークショップ
- NHM-4DVAR を用いたレーダー反射強度データの同化，名古屋大学地球水循環研究センター共同研究（計画研究）「マルチパラメーターレーダが拓く新しい地球水循環研究」
- Development and Result of a Cloud-Resolving Nonhydrostatic 4DVAR Assimilation System (NHM-4DVAR), 6th COPS Workshop

北島尚子

- 台風 0423 号の構造変化と大雨の特徴，日本気象学会 2007 年度春季大会
- 日本本土に上陸した台風の構造，日本気象学会 2007 年度秋季大会

北村祐二

- LES におけるパラメタリゼーションスキームの相互比較，日本気象学会 2007 年度秋季大会

鬼頭昭雄

- 気候変化の自然科学的根拠，IPCC 第 4 次評価報告書「加速する地球温暖化-科学者からの警告-」
- West African Monsoon in a 20km-mesh Atmospheric GCM, AGU2007 Joint Assembly
- How robust is the ENSO-Monsoon teleconnection?, International Union of Geodesy and Geophysics (IUGG) 2007
- Coupled model simulations on the effect of large-scale orography on climate, Celebrating the Monsoon: An International Conference
- 気候変動予測研究の最前線，第 7 回水資源に関するシンポジウム
- 地球シミュレーターによる 100 年後の日本の気候，「エネルギーを考える会」勉強会
- 全球気候予測，気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第 4 次評価報告書出版記念講演会
- 地球温暖化予測の最前線，技術交流 in つくば 2007
- Projection of the change in future weather extremes, 2nd Asian Ministerial Conference on Disaster Risk Reduction
- Next generation model development at MRI, Third China-Korea-Japan Joint Conference on Meteorology
- Effect of topographic uplift on monsoon evolution, Final International Symposium of IGCP-476 "Monsoon evolution and tectonics-climate linkage in Asia"
- Effect of mountains on monsoon evolution, Joint Conference on The 6th International Symposium on Asian Monsoon System (ISAM6) and The 9th East Asian Climate

Workshop (EAC9)

- Super-high-resolution modeling of East Asian Monsoon, Joint Conference on The 6th International Symposium on Asian Monsoon System (ISAM6) and The 9th East Asian Climate Workshop (EAC9)
- Projected change in heavy rainfall occurrence during Indian summer monsoon season in a 20-km GCM, Joint Conference on The 6th International Symposium on Asian Monsoon System (ISAM6) and The 9th East Asian Climate Workshop (EAC9)
- Recent Climate modeling activity at MRI, Japan-Taiwan Joint Workshop for the EAMEX and MAHASRI
- アジアモンスーンの高解像度モデリング, MAHASRI 国内研究集会
- Monsoon in the Future, The Asian Monsoon System: Prediction of Change and Variability
- West African Monsoon in a 20km-mesh Atmospheric GCM, First West African Monsoon Modeling and Evaluation Workshop
- Projection of the change in future weather extremes using super-high-resolution atmospheric models, Joint Workshop of The 10th International Workshop on Next Generation Climate Models for Advanced High Performance Computing Facilities and The 1st International Workshop on KAKUSHIN Program
- Projection of the change in future weather extreme using high resolution atmospheric model, Global Climate Seminar on the Impact of Global Climate Change to Monthly Rainfall-Runoff in Thailand and its impact on Water Resources Management in the Eastern Region of Thailand

楠 研一

- 気象研究所における可搬型ドップラー気象レーダーを用いた研究—これまでと今後—, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- メソ渦の存在を示唆するインナーコア周辺の地上風と気圧変動, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- High resolution observations of terrain modified storms using the MRI portable X-band Doppler radar (X-POD), 第 33 回国際レーダー気象会議
- The MRI portable X-band Doppler radar (X-POD) : Status and Applications, 第 33 回国際レーダー気象会議
- ドップラーレーダー気象レーダーによる交通システムのための突風探知, 平成 19 年度電気学会 基礎・材料・共通部門大会
- Doppler weather radar for monitoring hazardous winds for transportation system, 第 12 回日米気象技術交流会
- 小型ドップラー気象レーダーによる鉄道安全運行のための突風探知システムの基礎的研究—研究の概要—, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- メソ渦の存在を示唆するインナーコア周辺の地上風と気圧変動 II -眼の回転パターンとの関係-, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- Understanding hazardous winds over the Japan Sea area during the East Asian winter monsoon, 第 6 回メソ気象と台風に関する国際会議
- Surface wind and pressure perturbations within polygonal/elliptical eyewalls of Tyoons Maemi, Aere, and Songda, 第 6 回メソ気象と台風に関する国際会議
- An assessment of clear-air echo occurrences to develop an advanced wind shear detection system for precipitation-free conditions, 13th Conf. on Aviation, Range and Aerospace Meteorology
- The Shonai area railroad weather project: Scientific objectives and experimental design, 13th Conf. on Aviation, Range and Aerospace Meteorology
- 庄内平野における観測突風探知システム, 風災害研究講演会

- 楠 昌司
- ・地球温暖化予測に伴う不確実性の定量化, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - ・ Uncertainty of Asia summer monsoon change in global warming projections by an atmosphere-ocean coupled general circulation model MRI-CGCM2.3, 日本地球惑星科学連合 2007 年度大会
  - ・ Change of East Asia Monsoon in global warming projection by an atmospheric general circulation model with a 20-km grid size, 21st Pacific Science Congress
  - ・ Change in the East Asia summer monsoon projected by an atmospheric global model with 20-km grid size, Joint Conference on The 6th International Symposium on Asian Monsoon System (ISAM6) and The 9th East Asian Climate Workshop (EAC9)
  - ・ Global Warming and the tropical cyclone climatology as simulated in a 20-km mesh global atmospheric model, International Union of Geodesy and Geophysics (IUGG) 2007
  - ・ Change of East Asia Monsoon in global warming projection by an atmospheric general circulation model with a 20-km grid size, International Union of Geodesy and Geophysics (IUGG) 2007
  - ・地球規模での異常気象について(副題:地球温暖化), 国際理解教育ひろば
  - ・大気海洋結合モデルによる梅雨期の降水強度の再現性, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - ・ Validation of precipitation simulated by 20-km mesh atmospheric global model, The 7th GPM International Planning Workshop
  - ・ Global warming projection with 20-km mesh global atmospheric model, Workshop on the Change of Climate Studies in East Asia and Taiwan
  - ・ 超高解像度大気モデルによる気候変動予測の不確実性の定量化と低減に関する研究, 文部科学省「21 世紀気候変動予測革新プログラム」平成 19 年度研究成果報告会
  - ・ Precipitation intensity of East Asian summer monsoon in the 20th-century simulations by AOGCMs for IPCC AR4, 88th Annual Meeting of American Meteorological Society
  - ・ Evaluation of East Asian summer monsoon precipitation in reanalyses, The 3rd WCRP International Conference on Reanalysis
  - ・気候モデルで何がわかるか, 日本気象予報士会第 38 回東京支部会合
- 朽木勝幸
- ・ 双方向反射率に対する地表面ラフネスの効果, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - ・ 凹凸のある雪面における双方向反射率特性, 日本雪氷学会 2007 年度全国大会
  - ・ 太陽遮蔽型全天分光日射計による積雪分光アルベドの測定, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - ・ Retrieval of snow physical parameters using ground-based spectral pyranometer, 5th EARSeL Workshop
- 工藤 玲
- ・ 直達光・散乱光からのエアロゾルの光学特性の推定, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - ・ Broad-Band 放射計による可視・近赤外域の直達・散乱光からのエアロゾル光学特性の推定, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- 國井 勝
- ・ 気象庁非静力学モデルに対する特異ベクトルの計算 (第 4 報), 日本気象学会 2007 年度春季大会
- 栗原和夫
- ・ 地域気候モデルで再現された台風と大規模場強制力のスケール, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- 黒田友二
- ・ 南半球冬季における太陽活動の上下結合に及ぼす影響, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - ・ Role of ozone on the solar cycle modulation of the North Atlantic Oscillation, 2007 年



### European Geophysical Meeting

- ・南半球における太陽活動の上下結合に及ぼす影響について, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- ・ Role of solar activity in the troposphere-stratosphere coupling in the southern hemisphere winter, CAWSES 2007 symposium
- ・Predictability of the Polar-night Jet Oscillation/Arctic Oscillation? Numerical experiment in winter 2003/2004, IUGG 2007
- ・ Role of the stratosphere on the predictability of the middle-range forecasting, AGU Chapman Conference on The Role of the Stratosphere in Climate and Climate Change

高野洋雄

- ・抵抗係数の波浪依存性が台風強度に与える影響, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- ・ The case study of the storm surges in the Seto Inland Sea caused by Typhoon Chaba, The 1st JCOMM Scientific and Technical Symposium on Storm Surges
- ・粒子法によって計算された波浪特性, 2008 年日本海洋学会春季大会

小林昭夫

- ・愛知県短期的スロースリップの過去調査～低周波地震の確認～, 日本地球惑星科学連合 2007 年度大会
- ・2000 年伊豆イベント後の伊豆諸島間の距離変化とそのテクトニックな意義, 日本地球惑星科学連合 2007 年度大会

小林隆久

- ・ Satellite measurements of precipitation and critical size of cloud droplet, 33rd Conference on Radar Meteorology
- ・ Cloud-precipitation interaction derived from space-borne radar and radiometer measurements, 2007 EUMETSAT Meteorological Satellite Conference
- ・雲粒臨界半径の衛星による観測, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- ・ Retrieval of cloud-precipitation characteristics by a combined radar and visible/IR radiometer technique, TRMM 3rd NASA/JAXA International Science Conference

財前祐二

- ・揮発特性による大気エアロゾル粒子の混合状態の測定, 日本気象学会 2007 年度春季大会

斎藤篤思

- ・氷晶核測定装置を用いた氷晶核数濃度の測定 (その 2), 日本気象学会 2007 年度秋季大会

斉藤和雄

- ・気象庁非静力学モデルによる BGM 法のテスト (その 2), 日本気象学会 2007 年度春季大会
- ・WWRP 北京 2008 予報実証/研究開発プロジェクトについて (その 1 2006 年夏予備実験), 日本気象学会 2007 年度春季大会
- ・Advances on Tier1 EPSat MRI/JMA, The Third Workshop of WWRP B08FDP/RDP
- ・The Beijing2008 FDP/RDP project, 1st meeting WWRP Working Group on Mesoscale Weather Forecasting Research
- ・WWRP 北京 2008 予報実証/研究開発プロジェクト (その 2 2007 年予備実験概要), 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- ・Non-Hydrostatic Mesoscale Ensemble Prediction Trial for the WWRP Beijing 2008 Research and Development Project, 7th International SRNWP-Workshop on Non-Hydrostatic Modelling
- ・High resolution NWP at MRI and JMA, Institute of Technology Bandung KAGI 21 Seminar
- ・Possible contribution of MRI to COPS, 6th COPS Workshop
- ・Contribution of MRI to the International Research for Prevention and Mitigation of

Meteorological Disasters in Southeast Asia, The First International Workshop on Prevention and Mitigation of Meteorological Disasters in Southeast Asia

- Suggestions on the DA testbed, 2nd meeting WWRP Working Group on Mesoscale Weather Forecasting research

坂井孝行

- Calculations of Fundamental Pressure Source Models by FEM, Cities on Volcanoes 5 in Shimabara

酒井 哲

- 気球を用いた黄砂エアロゾルと上層雲の観測 –エアロゾルゾンデデータから得られた特徴–, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- ライダーと気球搭載パーティクルカウンタ・雲粒子ゾンデを用いた対流圏エアロゾルと上層雲の観測, 第 33 回リモートセンシングシンポジウム

坂見智法

- Hines の重力波抵抗パラメタリゼーションにおける鉛直解像度依存性と確率過程の導入, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- Effect of stochastic processes and vertical model-resolutions on the QBO simulation using the Hines gravity wave parameterization, Second International Conference on Earth System Modelling

佐々木秀孝

- 非静力学地域気候モデルによる現在気候再現実験, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- 非静力学地域気候モデルによる現在気候再現実験 (その 2), 日本気象学会 2007 年度秋季大会

佐々木政幸

- 気象衛星データを利用した巻雲の観測, 日本リモートセンシング学会第 43 回(平成 19 年度秋季)学術講演会

笹野大輔

- Decadal trend of dissolved oxygen in the Western Pacific along 165° E, 2008 Ocean Science Meeting
- A result of an efficiency test on new high-response DO sensor "RINKO" in the western North Pacific, Asia-Pacific Workshop on Carbon Cycle Observations
- 溶存酸素量の長期計測データの品質管理, 2008 年度日本海洋学会春季大会

澤 庸介

- 定期航空機で観測された圏界面付近の二酸化炭素濃度の変動, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- 定期航空機で観測された圏界面付近の CO<sub>2</sub>濃度の季節変動, 第 13 回大気化学討論会
- Widespread pollution events of CO observed over the western North Pacific during the ABC-EAREX2005, Asia-Pacific Workshop on Carbon Cycle Observations

柴田清孝

- 赤道成層圏準二年振動 (QBO) の子午面構造 (化学-気候モデル過去再現実験と観測との比較), 日本気象学会 2007 年度春季大会
- 気象研究所大気大循環モデルにおける突然昇温について (気候値ランと強制力ランの大昇温の比較), 日本気象学会 2007 年度秋季大会

小司禎教

- Impact of GPS RO data for meso-scale numerical weather prediction model, Workshop on GPS radio Occultation technique and Applications
- Strategies to reduce errors due to strong horizontal / vertical gradient of refractivity, Workshop on GPS radio Occultation technique and Applications
- GPS 掩蔽法: 対流圏下層の品質管理について, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- Development of Assimilation Systems of GPS Radio Occultation Data for Operational

Numerical Weather Prediction Models, The 1<sup>st</sup> International Workshop on Atmosphere Occultation and Precision orbit Determination (AOPOD)

- A Study to Reduce Errors of GPS Radio Occultation Data Caused by Strong Horizontal/Vertical Gradient of Refractivity, 4th annual meeting of Asia Oceania Geosciences Society(AOGS2007)
- Development of GPS Data Assimilation Systems for Operational Numerical Weather Prediction Models, 4th annual meeting of Asia Oceania Geosciences Society (AOGS2007)
- GPS 掩蔽法：対流圏下層の品質管理について（その 2），日本気象学会 2007 年度秋季大会
- Development of GPS radio Occultation Data Assimilation System for Meso-scale Numerical Weather Prediction Model, Second Formosat-3/COSMIC Data Users Workshop
- An Experiment of Near Real-time Precipitable Water Vapor Retrieval Using Ground-based GPS Stations in South East Asia, The First International Workshop on Prevention and Mitigation of Meteorological Disasters in Southeast Asia
- GPS Meteorology in Japan: Atmospheric Research and Data Assimilation into Numerical Weather Prediction, 2nd meeting WWRP Working Group on Mesoscale Weather Forecasting Research

新藤永樹

- Noether の定理と波の振幅 2 次 Flux 保存則について，日本気象学会 2007 年度秋季大会

杉 正人

- Examination of Tropical Cyclogenesis using the High Temporal and Spatial Resolution JRA-25 Dataset, Third WCRP International Conference on Reanalysis

鈴木 修

- '96~'06 の空港気象ドップラーレーダーのデータを用いた竜巻等突風の親雲のメソサイクロンの解析，日本気象学会 2007 年度春季大会

清野直子

- JMANHM を用いた移流拡散シミュレーション-黄砂と火山灰への適応例-，第 9 回非静力学モデルに関するワークショップ
- 単層都市キャノピースキームを用いた JMANHM による都市気象シミュレーションの試み，日本気象学会 2007 年度秋季大会

関山 剛

- アンサンブル・カルマン・フィルタによるオゾン全量のデータ同化，第 13 回大気化学討論会

瀬古 弘

- 気象庁非静力学モデルを用いた日本域メソアンサンブル予報（その 1：規格化した現業週間アンサンブルの摂動を用いた実験），日本気象学会 2007 年度春季大会
- 近畿地方や中国・四国地方の線状降水帯の構造と維持機構（その 1），日本気象学会 2007 年度春季大会
- 気象庁非静力学モデルを用いた日本域メソアンサンブル予報，第 9 回非静力学モデルに関するワークショップ
- WWRP 北京 2008 研究開発プロジェクト：2007 予備実験（検証），第 9 回非静力学モデルに関するワークショップ
- Preliminary experiments for the Tier2 at MRI, The Third Workshop of WWRP B08FDP/RDP
- COSMIC 衛星の掩蔽データを用いた同化実験，日本気象学会 2007 年度秋季大会
- ドップラーレーダの IQ データを用いた水蒸気推定の試み，日本気象学会 2007 年度秋季大会
- Japan area meso ensemble experiments using JMANHM, 7th International

### SRNWP-Workshop on Non-Hydrostatic Modelling

- GPS 掩蔽データの同化法の開発と降水予報の改善例, 第 5 回天気予報研究会
- マグネトロン C バンドドップラーレーダを用いた水蒸気推定, 名古屋大学地球水循環研究センター共同研究(計画研究)「マルチパラメーターレーダが拓く新しい地球水循環研究」
- Numerical simulation of heavy rainfall events in South/Southeast Asia using NHM, The First International Workshop on Prevention and Mitigation of Meteorological Disasters in Southeast

高木朗充

- GPS で捉えられた御獄山の地殻変動, 日本地球惑星科学連合 2007 年度大会
- Estimation of Magma Supply System of Izu-Oshima Volcano Using by High Density GPS and EDM Network, Cities on Volcanoes 5 in Shimabara

高橋清利

- 再解析データにおける陸域日降水量特性の検証, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- GMS IR データによる西太平洋熱帯域における雲量トレンド, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- 日本における暖候期の月降水量分布の変動パターンと大気循環場の関係, 日本気象学会 2007 年度秋季大会

高橋 宙

- 孤立峰を大気化学観測塔として利用するための気象場の調査, 日本気象学会 2007 年度秋季大会

高菟 出

- MJ-SiB を組み込んだ地域気候モデルによる積雪の再現について, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- RCM による CGCM のダウンスケーリングー西方擾乱と一般場の関連についてー, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- Introduction of the research project of multi-model ensembles and down-scaling methods for assessment of climate change around the Asian region, supported by the Ministry of the Environment, Japan, ENSEMBLES 4GA meeting
- 推進費 S-5-3 「地球温暖化影響評価のためのマルチモデルアンサンブルとダウンスケーリングの研究」の概要, 京都大学防災研究所水資源セミナー, 「地球規模データのダウンスケーリングと流域水主現環境の解析」

高山寛美

- 沖合の海底津波計と沿岸の検潮所での津波の高さの関係, 日本地球惑星科学連合 2007 年度大会

高山博之

- 地震発生層の深さと地形高度, 日本地球惑星科学連合 2007 年度大会
- プレート境界の形状の違いによる南海トラフ沿いの大地震シミュレーションへの影響について, 日本地球惑星科学連合 2007 年度大会

田尻拓也

- MRI 雲生成チャンバーによる雲物理実験 (その 2) 吸湿性粒子シーディングによる雲粒生成実験, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- MRI 雲生成チャンバーによる雲物理実験 ー混合雲における氷晶発生過程についてー, 日本気象学会 2007 年度秋季大会

田中悦子

- 札幌における積雪不純物のカーボン分析, 日本気象学会 2007 年度秋季大会

田中泰宙

- エーロゾルモデルの気象研究所地球システムモデルへの結合と火山性エーロゾルによるエーロゾル・放射結合実験, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- 気象研究所地球システムモデルによるピナツボ火山起源エーロゾルのシミュレーション (そ

の 2) : エロゾルとオゾン光化学, 大気放射の相互作用, 日本気象学会 2007 年度秋季大会

- Simulation of the Aerosols produced by Mt. Pinatubo Eruption using MRI Earth System Model, Second International Conference on Earth System Modelling
- Climatic role of dust aerosol deposition on snow surface, Third China-Korea-Japan joint conference on meteorology
- Climatic effects of aerosols using the MRI Earth System Model, JSPS-DFG Round Table on 'Climatic System Research - Status and Perspective'

田中 実

- 北西太平洋地域における亜熱帯低気圧の発生とその地理的分布, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- 20 世紀における日本付近の冬の気温とシベリア高気圧・アリコーション低気圧・北極振動・ENSO の関係, 日本気象学会 2007 年度春季大会

千葉 長

- JRA-25 熱収支解析 - 大気上端及び放射収支, 日本気象学会 2007 年度春季大会

忠鉢 繁

- 南極オゾンホール開始時期, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- 南極上空の極夜期間のオゾン全量, 日本気象学会 2007 年度秋季大会

辻野博之

- 気象研究所共用海洋モデルによる現在気候再現実験でシミュレートされた海氷, 2008 年度日本海洋学会春季大会
- Improved representation of currents and water masses in the upper layer of the North Pacific Ocean in eddy-resolving OGCMs, Workshop on Numerical Methods in Ocean Models

出牛 真

- 気象研究所対流圏一成層圏化学気候モデルの開発 —モデルの概要と予備実験結果—, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- 全球化学気候モデルで再現された火山性エアロゾルが成層圏赤道準二年振動に与える影響について, 日本地球惑星科学連合 2007 年大会
- Effects of volcanic eruptions on the quasi-biennial oscillation as revealed with MRI chemistry-climate model, Second International Conference on Earth System Modelling

時枝隆之

- CFC 年齢による西部北太平洋の海洋循環変動と人為起源二酸化炭素蓄積量の評価, 2007 年度日本海洋学会秋季大会
- Evaluation of changes in ocean circulation and anthropogenic CO<sub>2</sub> storage based on CFCs age in the western North Pacific, North Pacific Marine Science Organization (PICES) Sixteenth Annual Meeting
- Changes in ocean circulation and anthropogenic CO<sub>2</sub> storage based on CFCs age in the western North Pacific, 2008 Ocean Science Meeting

直江寛明

- DMS サイクルにおける海塩粒子への捕捉消失過程, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- 海塩エアロゾルが液相化学反応によって変質するメカニズム, 日本気象学会 2007 年度秋季大会

永井智広

- ライダーによる成層圏エアロゾルの長期モニタリング, 第 25 回レーザーセンシングシンポジウム
- CO<sub>2</sub> 鉛直分布観測用 DIAL のための 1.6 $\mu$ m 用受信系の開発, 第 25 回レーザーセンシングシン

ポジウム

- ・ 1.6 $\mu$ m 帯を用いた二酸化炭素鉛直分布観測用 DIAL (2) –受信部の開発–, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- ・ ライダーによる成層圏エーロゾルの長期モニタリング, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- ・ ライダーによる CO<sub>2</sub> 鉛直分布の測定, 第 12 回気象リモートセンシング利用研究会
- ・ ライダーによる成層圏エーロゾル層の長期観測, 第 33 回リモートセンシングシンポジウム

仲江川敏之 ・ 全球大気モデルで再現された年最大月降水量の生起確率, 日本気象学会 2007 年度春季大会  
・ アンサンブル実験に基づく東アジア地域の確率年最大月降水量の推定, 水工学講演会

中川慎治 ・ 牧草地におけるポテンシャル蒸発量と実蒸発量の関係, 日本気象学会 2007 年度春季大会

中里真久 ・ 竜巻風速パラメータ –スーパーセル型竜巻の発生の可能性と接線風速の推定–, 日本気象学会 2007 年度秋季大会  
・ 対流圏オゾン DIAL を用いた南極における地上オゾン急減現象の観測研究, 南極研究観測シンポジウム  
・ 対流圏オゾンライダーで観測されたオゾン鉛直分布の季節変化, 第 25 回レーザーセンシングシンポジウム  
・ ライダー観測に基づく対流圏オゾンの起源の識別可能性, 第 33 回リモートセンシングシンポジウム  
・ ライダーで観測された対流圏オゾンの季節変化の特徴, 第 13 回大気化学討論会  
・ 衛星と地上設置型ライダーによる対流圏オゾンプロファイルの観測の可能性, 第 4 回対流圏微量成分衛星解析研究会 (ゼヒュロスの会) シンポジウム  
・ DIAL で観測された対流圏オゾンの季節変化の解析, 第 12 回大気ライダー観測研究会

中澤哲夫 ・ THORPEX PARC Asia, T-PARC Planning Meeting  
・ THORPEX Pacific Asian Regional Campaign in 2008, International Typhoon and Disaster Prevention Expert Workshop  
・ TRMM Science in Climate and Weather, US Precipitation Measuring Mission Science Team Meeting  
・ 台風上陸モードの季節推移, 日本気象学会 2007 年度春季大会  
・ Typhoon Landfall Mode on Japan, International Symposium on Global Change, Asian Monsoon and Extreme Weather and Climate  
・ Predictability of Typhoon Formation in JMA Ensemble Forecast Data, 21st Pacific Science Congress  
・ Predictability of Tropical Cyclogenesis over the western Pacific in 2004, IUGG  
・ T-PARC - Japanese Contribution, The 5th Asian THORPEX Regional Committee Meeting  
・ Field experiments on predictability of Typhoon East Asian Field Observation Workshop  
・ Interaction of Tropical Cyclones with Monsoon Systems, Typhoon Committee Roving Seminar  
・ 東進するスーパークラスターの構造, 日本気象学会 2007 年度秋季大会  
・ Eastward-moving Cloud Clusters in a MJO in January 2007, US CLIVAR MJO Workshop  
・ Predictability of tropical cyclogenesis in the JMA ensemble forecasts – a case study of the 2004 Typhoon Season, China-Korea-Japan Joint Society Conference on Meteorology  
・ Observational network in southern Japan International Implementation Workshop of the East Asian Monsoon Field Experiment  
・ 2004 年の MJO と台風発生, 台風に伴う強風, 豪雨などの気象災害の被害軽減に関する研

究集会

- THORPEX Pacific Asian Regional Campaign -New Challenges for Typhoon Mitigation. Planning Workshop for the THORPEX Pacific Asian Regional Campaign (T-PARC), Tropical Cycle Structure (TCS-08) and Other Collaborative Experiments
- Typhoon Targeting and Recurvature. Planning Workshop for the THORPEX Pacific Asian Regional Campaign (T-PARC), Tropical Cycle Structure (TCS-08) and Other Collaborative Experiments
- Eastward-moving Cloud Clusters in a MJO in January 2007, The 6th International Symposium on Asian Monsoon System
- Interactive Forecast System to Mitigate Typhoon Disasters, AFI-TFI-2007
- What does the T-PARC contribute to the society?, Japan-Taiwan Joint Workshop for the EAMEX and MAHASRI

中野俊也

- 西部太平洋赤道域表層の海洋構造, 海洋気象学会 2007 年度第 1 回例会
- 西部太平洋赤道域表層の海洋構造の変動, 2007 年度日本海洋学会秋季大会
- 気象研究所海洋データ同化システム (MOVE/MRI. COM-G) の同化再解析実験結果 (1993 ~2005 年) による北太平洋回帰線水の変動について, 九州大学応用力学研究所共同利用研究「海洋大循環の力学、とくに中深層循環におよぼす海岸、海底地形の影響に関する研究」
- 北太平洋亜熱帯循環域の表層から中層における気候変動に関連した塩分場の変動に関する研究, 東北大学 21 世紀 COE 先端地球惑星科学セミナー
- 北太平洋亜熱帯循環域中層における塩分の長期トレンドについて, 2008 年度日本海洋学会春季大会シンポジウム「海洋における長期変動の研究とその研究に必要な計測基準及び分析用標準の開発管理」その 3
- 気象庁新海洋解析システム (VII) -同化再解析結果による北太平洋回帰線水の変動-, 2008 年度日本海洋学会春季大会

中野英之

- 十年規模の風応力変動による黒潮続流の南北移動, 日本海洋学会 2007 年度秋季大会
- 黒潮続流域における再循環, 九州大学応用力学研究所共同研究「海洋大循環の力学、とくに中深層循環におよぼす海岸、海底地形の影響に関する研究」
- Analysis of  $^{137}\text{Cs}$  concentration in the Pacific using a Lagrangian approach from OGCM results, 2008SHOTS workshop
- Impact of the Increase in the Horizontal Resolution from 1/2 to 1/12 on a global ocean model, 2008 Ocean Science Meeting
- 岡田賞受賞記念講演「海洋大循環モデルを用いた中・深層を中心とする海洋循環場の研究」, 日本海洋学会 2008 年度春季大会

中村誠臣

- 2006 年夏季関東域を対象とした NHM による解像度を変えた比較実験, 第 9 回非静力学モデルに関するワークショップ
- 解像度を変えた非静力学モデルによる夏季関東域での再現実験, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- 気候変動に立ち向かう -極端現象 (台風・梅雨期の降水) の予測, 第 5 回環境研究機関連絡会成果発表会
- Projection of the change in future precipitation extremes using a nonhydrostatic cloud-resolving regional model 1. Model development and verification: The 10th International Workshop on Next Generation Climate Models for Advanced High Performance Computing Facilities

- 萩野谷成徳
- ・チベット高原上の広域熱収支解析, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - ・A climatological estimate of heat and water fluxes over the Tibetan Plateau, 4th Annual Meeting AOGS(Asia Oceania Geosciences Society)2007
  - ・チベット高原上の広域熱収支の推定 -WI が代表する空間スケール-, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- 橋本明弘
- ・3次元非静力学モデルを用いた最適シーディング法の開発, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - ・人工降雪のためのシーディング有効雲に関する雲解像モデル結果を用いた統計解, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - ・JMANHM 4-ICE 雲微物理過程の開発, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - ・非静力学モデル雲物理過程の高度化, 気象庁・地球フロンティア研究センター研究懇談会第 3 回会合
  - ・Modeling study on the winter orographic cloud seeding in Japan, the Conference on Mesoscale Meteorology and Typhoon in East Asia (ICMCS-VI)
- 林 修吾
- ・Observationl and Numerical studies of Winter Thunderstorms with Positive C-G lightning over the Sea of Japan, IUGG 2007 Perugia
  - ・梅雨期の落雷観測と 1km-NHM が再現した雲の統計的特徴との比較 (2007 梅雨), 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - ・JMANHM と WRF の雲物理量の比較, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - ・Basic usage of NHM for numerical weather experiments, The First International Workshop on Prevention and Mitigation of Meteorological Disasters in Southeast Asia
- 林 豊
- ・津波予報への数値シミュレーション技術の活用, 第 41 回夏季大学「新しい気象学—気象のシミュレーション II」
  - ・Convergence process of the 2006 Kuril Island earthquake tsunami observed along the Pacific coast of Japan, EASTEC Symposium 2007 "Dynamic Earth: its origin and future"
  - ・太平洋沿岸で観測された 2006 年千島列島沖地震津波の減衰過程, 日本地震学会 2007 年度秋季大会
- 原 昌弘
- ・平成 19 年 7 月九州豪雨のメソアンサンブル予報実験 (全球湿潤ターゲット SV を用いた NHM によるダウンスケール予報実験 その 2), 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- 平田賢治
- ・断層の破壊伝播が津波の振幅に及ぼす影響, 2007 年地球惑星科学連合学会
  - ・Earthquake rupture propagation and regional tsunami amplitude, AOGS2007 4th Annual Meeting
  - ・スマトラ北西沖海域調査の国際的な取り組みと 3 つの断層モデル仮説, 日本地震学会 2007 年度秋季大会
  - ・Should the effect of earthquake rupture propagation be included in tsunami forecast/warning systems?, International Symposium on the Restoration Program from Giant Earthquakes and Tsunamis
  - ・Unusual tsunami generation off northern Sumatra by the 2004 Sumatra-Andaman earthquake : review, International Workshop on Geodynamics of South-East Asia, Nagoya University



- 平原幹俊
- Parameterization of Sub-Grid Tracer Transport in Eddy-Permitting Ocean Models, International Union of Geodesy and Geophysics (IUGG) 2007
  - 渦許容モデルにおけるサブグリッド熱・塩輸送のパラメタリゼーション, 2007 年日本海洋学会秋季大会
  - 渦許容モデルにおけるサブグリッド輸送の拡散型表現, 九州大学応用力学研究所共同研究「海洋大循環の力学、とくに中深層循環におよぼす海岸、海底地形の影響に関する研究」研究集会
  - 渦許容モデルにおけるサブグリッド熱・塩輸送のパラメタリゼーション II, 2008 年度日本海洋学会春季大会
- 廣瀬勝己
- 50 Years records of atmospheric deposition of long-lived anthropogenic radionuclides in Japan, 環境放射能国際会議：測定から規制のための評価まで
  - 南太平洋の海水中のプルトニウムの鉛直分布について, 2007 年日本地球化学会第 54 回年会
  - 南太平洋の粒子状物質に含まれる配粒子について, 2007 年日本海洋学会秋季大会
  - 生物地球化学の指標としての Pu/<sup>137</sup>Cs 比について, 2008 年度日本海洋学会春季大会
  - 海水中のプルトニウムの研究：40 年の変遷, 2008 年度第 9 回「環境放射能」研究会
- 弘瀬冬樹
- 東海地域の長期的スロースリップイベントの再現-その 2-, 日本地球惑星科学連合 2007 年大会
  - Double-Difference Tomography 法による関東～九州下の 3 次元地震波速度構造およびフィリピン海スラブの形状の推定, 日本地球惑星科学連合 2007 年大会
- 福井敬一
- Volcano Deformation Modeling by using FEM Simulation Database, Cities on Volcanoes 5 conference
- 藤井陽介
- 結合モデルと海洋観測データの統合（準結合同化）による気候変動の再現, 2007 年日本海洋学会秋季大会
  - Role of TAO-TRITON Arrays in the ENSO analysis and prediction using the ocean data assimilation system and the coupled model of MRI and JMA, Symposium on Observational studies of climate variability in the Pacific and Indian Oceans - Roles of surface buoy network-
  - OSSE-OOPC activities with Multivariate Ocean Variational Estimation (MOVE) system. I: Application of singular vector analysis to the Kuroshio large meander, GODAE-OOPC OSSE/OSE meeting
  - Salinity variability in the tropical and subtropical Pacific in the MRI Multivariate Ocean Variational Estimation (MOVE) System, 2008 Ocean Science Meeting
  - 気象庁新海洋解析システム（Ⅷ）－特異値分解を用いた黒潮大蛇行の形成に関する解析－, 2008 年度日本海洋学会春季大会
  - Coupled Ocean and Atmosphere Analysis by Assimilating Ocean Observation Data to a Coupled Model, Third WCRP International Conference on Reanalysis
- 藤部文昭
- 近年の日本の気温上昇傾向における都市効果, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - 大雨の特徴と最近の傾向, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - 都市豪雨の実態と長期変化, 第 42 回地盤工学研究発表会
  - 日本の大雨の実態と長期変化, 平成 19 年度自主防災組織リーダー研修会
  - Detection of urban warming in recent temperature trends in Japan, 10th International Meeting on Statistical Climatology, Beijing, China
  - 区内観測による日降水量データのデジタル化と降水長期変動解析への利用, 日本気象学

会 2007 年度秋季大会

- ・ 早明浦ダムの貯水量と降水量の変動特性, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- ・ 降水の長期変動から見た渇水問題, 文部科学省 科学技術振興調整費「渇水対策のための人工降雨・降雪に関する総合的研究」 公開シンポジウム

別所康太郎

- ・ T-PARC における MTSAT-2 Rapid Scan による衛星風観測実験, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- ・ Statistical analysis of surface wind distribution of typhoons on western North Pacific observed by scatterometer for 8 years, 第 6 回メソ気象と台風に関する国際会議
- ・ 8 年間の散乱計観測による台風域内の海上風分布の統計解析, 台風に伴う強風, 豪雨などの気象災害の被害軽減に関する研究集会

保坂征宏

- ・ Change of Greenland Ice Sheet due to Global Warming Simulated by SICOPOLIS, The 2nd International Conference on Earth System Modelling
- ・ Change of Greenland Ice Sheet due to Global Warming Simulated by SICOPOLIS, International Union of Geodesy and Geophysics(IUGG) 2007
- ・ 温暖化シミュレーションに見る雪氷と気候, 日本気象学会 2007 年度秋季大会シンポジウム「雪氷圏と気候」

星野俊介

- ・ 台風の温帯低気圧化時に見られる AMSU 気温データの特徴, 日本気象学会 2007 年度秋季大会

前田憲二

- ・ 静的および動的応力変化による地震活動変化の評価, 日本地震学会 2007 年度秋季大会
- ・ 大地震による周辺地震活動の静的・動的トリガリング, 金森博雄先生京都賞受賞記念シンポジウム「C3-新時代地震学への鍵」
- ・ 大地震によって励起される地震活動の評価, 統計数理研究所共同研究集会 19-共研-5002「地震活動のモデルと予測に関する研究」
- ・ Seismicity Rate Change Jointly Triggered by Static Stress Step and Dynamic Effect, Evison Symposium on Seismogenesis and Earthquake Forecasting

益子 渉

- ・ 雲解像モデルによる T0613 号に伴う竜巻の再現実験, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- ・ Numerical simulations of tornado-producing supercell storm and tornado associated with Typhoon Shanshan (2006), 12th Conference on Mesoscale Processes
- ・ 竜巻研究の最前線, 2007 年度日本気象学会九州支部「気象教室」
- ・ 2006 年台風第 13 号に伴う竜巻のシミュレーション - 環境場・竜巻をもたらしたスーパーセル・竜巻の数値解析-, 第 29 回メソ気象研究会
- ・ 高解像度非静力学モデルによる T0613 号に伴う竜巻のシミュレーション-竜巻の発生過程の解析-, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- ・ 2006 年台風第 13 号に伴う竜巻の数値シミュレーション, 京都大学防災研究所研究集会「台風に伴う強風, 豪雨などの気象災害の被害軽減に関する研究集会」

増田一彦

- ・ Accurate retrieval of cirrus cloud properties from satellite measurements, TRMM 3rd NASA/JAXA International Science Conference

松枝秀和

- ・ 定期航空機によるフラスコサンプリングで観測されたメタン濃度の変動, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- ・ 定期航空機によるフランスコサンプリングで観測された微量気体濃度の変動, 第 13 回大気化学討論会
- ・ 定期航空機を利用した大気モニタリングの展開と今後の展望, 第 13 回大気化学討論会

- ・定期航空機を利用した温室効果気体観測，定期航空機を利用した温室効果気体観測
- ・世界気象機関(WMO)における標準ガスの濃度スケールについて，第3回(平成19年度)標準ガスクラブ

- 松本 聡
- ・OSSE-OOPC activities with Multivariate Ocean Variational Estimation (MOVE) system. II: Impacts of salinity and TAO/TRITON., GODAE-OOPC OSSE/OSE meeting
  - ・Ocean Climate variability and water mass variability in the reanalyses of the Multivariate Ocean Variational Estimation (MOVE) System, 2008 Ocean Science Meeting
  - ・気象庁新海洋解析システム(VI)ー全球海洋データ同化システムと長期再解析ー，2008年度日本海洋学会春季大会

- 真野裕三
- ・ライダーによるエアロゾル粒径分布の推定における非球形性の効果，日本気象学会2007年度秋季大会

- 馬淵和雄
- ・陸域生態系モデルを導入した気候モデルによる3次元炭素循環数値実験と大気中CO<sub>2</sub>観測データ利用の可能性，第2回「航空機による大気観測データ利用小委員会」
  - ・地球気候モデルによる東アジア域におけるgreen-LAIの変動と衛星データによる検証，S1リモートセンシング研究会
  - ・Estimating components of terrestrial carbon sink using BAIM, 国立環境研究所 OGED セミナー
  - ・On-line simulation of global carbon cycle and regional carbon balance in the Asian tropical region using a terrestrial ecosystem model integrated into a global climate model, The Second International Conference on Earth System Modeling
  - ・BAIM2を導入した地域気候モデルにより再現された陸域植生LAIの年々変動と衛星NDVIによる検証，日本気象学会2007年度秋季大会
  - ・アジア域熱帯林減少の地域的水循環への影響に関する新たな数値実験について，CREST研究「熱帯モンスーンアジアにおける降水変動が熱帯林の水循環・生態系に与える影響」全体会議

- 三上正男
- ・Multi-size Saltation Process from fallow-wheat-field in Australia During JADE IOP., IUGG 2007 Perugia
  - ・Wind Erosion Process from Anthropogenic Source Areas in Australia, International workshop on semi-arid land surface-atmosphere interaction
  - ・Threshold Wind Speed for Dust Emission in East Asia and its Relation to Surface Conditions, International workshop on semi-arid land surface interaction
  - ・飛砂とダストの発生機構の同時観測(JADE-IOP)ー弱い降雨後のクラスト・凝集形成によるダスト濃度の粒径別変化ー，日本気象学会2007年度秋季大会
  - ・オーストラリア休耕地で観測された非一様飛砂飛散過程と臨界摩擦速度，日本気象学会2007年度秋季大会
  - ・地球温暖化とどう向き合うか，キャリアアップ講座
  - ・地球温暖化とどう向き合うか，環境に関する特別授業
  - ・Physical process of wind erosion and its relation to ground surface conditions in East Asia, Third China-Korea-Japan Joint Conference on Meteorology
  - ・北東アジアの地表面条件とダストの発生，鳥取大学乾燥地研究センター平成19年度共同研究発表会
  - ・黄砂の長距離輸送と東アジアの大気環境，特別講演会(日本分析化学会主催)
  - ・風送ダストの気候インパクト，海洋気象学会シンポジウム
  - ・身近なところからできることをできるときにー地球環境のためのボランティアー，平成

19年度附中スクールボランティア研修会

- Dust emission under weak physical crust after small precipitation at a fallow-wheat field in Australia during JADE-IOP, Third China-Korea-Japan Joint Conference on Meteorology
- Effect of weak crust on saltation mass flux after small precipitation event during JADE IOP, Proceedings of IUGG XXIV General Assembly, (M)-IAMAS, MS004: Mineral Dust Cycle and its Impact on Clouds and Radiation (ICCP)
- オーストラリア休耕地からの飛砂飛散過程 —JADE-IOP1 観測—, 第53回風に関するシンポジウム講演

緑川 貴

- 北太平洋西部熱帯域における CO<sub>2</sub>分圧の変動要因, 2007年度日本海洋学会秋季大会
- 台風の通過が引き起こす海洋表層炭素循環の変動, 2008年度日本海洋学会春季大会

村上正隆

- Japanese Research Activities in Orographic Snow Cloud Modification for Water Resources Augmentation, Weather Modification Association Annual Meeting
- 招待講演: Japanese Weather Modification Research, Australian Cloud Seeding Research Symposium
- 国内外の人工降雨・降雪の取り組みについて, (独)水資源機構主催 新技術に関する勉強会
- MRI 氷晶核計と氷晶発生に関する研究について, International Workshop on Comparing Ice Nucleation Measuring Systems
- シーディングに適した雲(有効雲)の定量的評価法 — 2D モデルの結果を用いて —, 日本気象学会 2007年度秋季大会
- 国内外における人工降雨研究, 公開シンポジウム「変わりゆく気候と水資源」
- 四国における人工降雨実験, 四国建設技術懇談会
- 国内外における人工降雨・降雪研究, 国土交通先端技術フォーラム

村崎万代

- JRA-25 を境界条件とした地域気候モデルを用いた過去の気候再現実験, 日本気象学会 2007年度春季大会
- JRA-25 を境界条件とした地域気候モデルを用いた過去の気候再現実験(その2), 日本気象学会 2007年度秋季大会
- A Regional climate simulation over Japan nested with JRA-25, Third WCRP International Conference on Reanalysis

村田昭彦

- 週間アンサンブル予報における台風発生環境場, 日本気象学会 2007年度春季大会
- 積雲対流パラメタリゼーションにおける雲量の影響, 日本気象学会 2007年度秋季大会
- A mechanism for heavy precipitation over mountainous region associated with typhoon Meari(2004), Conference on Mesoscale Meteorology and Typhoon in East Asia (ICMCS-VI)

毛利英明

- 乱流局所統計量の揺らぎについて, 日本流体力学会年会 2007

本井達夫

- ヒマラヤチベット隆起による東アジア河川流出量増加と西部北太平洋縁辺海の低塩化, 日本地球惑星科学連合 2007年大会
- 利尻・礼文島への流氷接岸を伴ったオホーツク海表層低塩分水の日本海への冬季流出, 2007年度日本海洋学会秋季大会
- Subarctic Pacific sea-ice formation due to central American seaway closure and its influence on east Asian winter monsoon, IGCP-476 最終国際シンポジウム—アジアにおけるモンスーンの変遷とテクトニクス-気候の連動—

- Southward  $^{137}\text{Cs}$  transport across the equator simulated by Meteorological Research Institute Community Ocean Model, 2008 SHOTS Workshop
  - 稚内と紋別の水位差による宗谷海峡通過流量の復元と予測, 環オホーツク地域における気候変動・環境変動のモデリングと予測可能性の研究ワークショップ
  - 稚内と紋別の水位差と宗谷海峡通過流量の関係, 2008 年度日本海洋学会春季大会
- 森 滋男
- 海溝沿い巨大地震の発生予測に向けたシミュレーション及びモニタリング技術の高度化、並びに関連した知識ベース開発の推進, 次期地震予知研究計画検討シンポジウム
  - わが国とその周辺の地震についての ISC 震源の評価-ISC で利用を検討している速度構造モデル-, わが国とその周辺の地震についての ISC 震源の評価 -ISC で利用を検討している速度構造モデル-, P3-033, 日本地震学会 2007 年度秋季大会
- 安田珠幾
- 気象庁次期エルニーニョ予測システムの開発, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - The new ENSO forecast system at Japan Meteorological Agency, World Climate Research Program (WCRP: 世界気候研究計画) workshop on seasonal prediction
  - 北太平洋亜熱帯モード水の体積及び水温の長期変動, 2007 年度日本海洋学会秋季大会
  - 大気海洋結合モデル 20 世紀再現実験における熱帯太平洋表層貯熱量の変動特性, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
  - Interannual variability of upper ocean heat content in the tropical Pacific in 20th century simulations, 2nd Workshop on Climate Risk Assessment
  - Interannual variability of upper ocean heat content in the tropical Pacific in 20th century simulations, 2008 Ocean Science Meeting
  - 大気海洋結合モデル 20 世紀再現実験における熱帯太平洋表層熱量の変動特性, 2008 年度日本海洋学会春季大会
- 柳野 健
- ローレンツシステムの第三種予測性-計算スキーム敏感性, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - 最適アフィン変換されたローレンツ方程式による不動点近傍のカオス挙動について, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- 山内 洋
- Range expansion of Doppler radar by combined use of Low-PRF and phase diversity processed Dual-PRF observations, 33rd International Conference on Radar Meteorology
  - 突風を引き起こした台風内部の微細構造 -2004 年関東に上陸した台風のドップラーレーダー解析より-, 平成 19 年度京都大学防災研究所共同研究 台風に伴う強風, 豪雨などの気象災害の被害軽減に関する研究集会
- 山崎明宏
- エーロゾル散乱係数の湿度特性の測定, 日本気象学会 2007 年度春季大会
  - エーロゾル散乱係数の湿度特性の測定 (2), 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- 山崎 明
- 紀伊半島南方沖の南海トラフ軸周辺における地震活動, 日本地球惑星科学連合 2007 年度大会
  - 鹿屋の絶対観測室内の磁気異常とその時間的变化, 平成 19 年度東京大学地震研究所共同利用研究集会 (2007 W-04) 「これからの地磁気観測と CA 研究」
- 山里 平
- 三宅島カルデラ直下で発生している地震のスペクトルの性質, 日本地球惑星科学連合 2007 年度大会
  - Infrasonic observation near active volcanoes in Japan, 2007 Infrasound Technology Workshop

- Volcano Acoustic Monitoring in Japan, Second International Workshop on Acoustic Remote Sensing of Volcanoes (IWARS)
- Infrasonic observation near active volcanoes and its results in Japan, Cities on Volcanoes 5 in Shimabara
- Monitoring of Volcanic Activity and Advisory Information in Volcano Crises - Case Histories of Usu and Miyake in 2000 -, Cities on Volcanoes 5 in Shimabara

山中吾郎

- 2006 年秋の太平洋赤道域とインド洋の状況について, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- 北太平洋渦解像モデルにおける亜熱帯前線の十年規模変動, 2007 年日本海洋学会秋季大会
- Decadal Variations of the Subtropical Front in a North Pacific Eddy Resolving OGCM, 2007 AGU Fall Meeting
- A discrepancy between observed and OGCM-simulated trends in recent SSTs of the Indian Ocean: Apparent trends in atmospheric reanalysis data, The 3rd WCRP International Conference on Reanalysis
- Mixed layer heat balance on seasonal to interannual timescales in the western tropical Pacific : An OGCM study, 2008 Ocean Sciences Meeting

山本剛靖

- 敦賀観測点における地殻変動観測への JR 北陸線直流化 の影響, 日本地球惑星科学連合 2007 年大会
- 湯河原観測点における降水量・地下水位・歪の関係, 日本地球惑星科学連合 2007 年大会

行本誠史

- 気象研究所地球システムモデルの開発 ―モデル概要と予備実験結果 ―, 日本気象学会 2007 年度春季大会

吉田康宏

- 静岡県森町におけるアクロス信号送信, 日本地球惑星科学連合 2007 年大会

吉村 純

- 20km 格子全球大気モデルにおける台風 ―温暖化タイムスライス実験での海面水温への依存性について―, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- Global warming and the tropical cyclone climatology as simulated in a 20-km-mesh global atmospheric model, 1st International Summit on Hurricanes and Climate Change
- 地球温暖化と台風, 県南地域高齢者はつらつ百人委員会
- Global warming and tropical cyclone climatology as simulated in a 20-km-mesh global atmospheric model, 21st Pacific Science Congress
- 台風の発生数や強度の変化に関する話題, 2007 年災害研究フォーラム

和田章義

- 表層海洋変動が台風に与える影響, 日本気象学会 2007 年度春季大会
- 台風予測に対する海洋観測データのインパクト(2004 年台風 10 号の事例) , 2007 年日本海洋学会秋季大会
- 非静力学台風モデルによる 2004 年台風 10 号の予測実験, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- 海洋表層の短時間変動が大気に与える影響-2004 年梅雨期の降水日変化に関する数値実験-, 日本気象学会 2007 年度秋季大会
- 北西太平洋海域における海洋貯熱量と台風活動の経年変動・相互作用, 2008 年度日本海洋学会春季大会